

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点
 「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2020 年度 国際共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2021 年 5 月 10 日 提出

1. 研究課題名	
スタンフォード大学東アジア図書館所蔵熊本藩文人書状集内容翻刻 (英文課題名: Providing descriptive metadata and transcriptions for Collection of correspondence and poems from various officials from the Kumamoto domain)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
マツザ美恵子(まっさみえこ)	スタンフォード大学東アジア図書館
4. 研究課題の概要(300 字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)	
<p>スタンフォード大学東アジア図書館が所蔵する「熊本藩文人書状集」(83 点の書状、17 点の漢詩からなるコレクション)は現在最小限のメタデータしか存在しないため、立命館大学 ARC の「くずし字翻刻学習・指導システム」を使用し当コレクションが既に作成済みのデジタル画像から研究代表者(マツザ)が翻刻文を作成する。翻刻文に基づきスタンフォード大学東アジア図書館 OPAC 上に公開されるメタデータの充実に努める。</p> <p>昨年度は諸事情により研究が当初の計画通りに進まなかった為、昨年度に引き続いての申請とした次第である。2020 年度の研究申請が受諾されたあかつきには、2019 年度研究目標で実現できなかった全文書の翻刻を完了する予定である。また、熊本市の郷土史家等に連絡を取り、書状内の諸事項について不明な点を問い合わせることも考慮している。2019 年度の経験から 2021 年期限終了までに上記の目標を達成することは十分可能だと考えている。</p>	
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)	
<p>2019 年度の研究では各書状の送り主、受取人を可能な限り明らかにすることが出来た。2020 年度の予定としては全書状の翻刻を完了することだったが、新型コロナウイルス流行のため 2021 年 5 月 10 日現在でも当大学図書館の職員はリモートワークを続けており、それに伴う諸事情によりコレクション全体の翻刻を完了することは出来なかった。筆者は 2021 年度の国際共同研究も継続して行う予定であるので本年度こそは翻刻の完了、メタデータの充実という当初の目標を達成したいと思っている。また、当方のウェブブラウザアップデートが原因かと思われる翻刻支援データベースの不具合があった際、金子貴昭先生とテクニカルサポートボードの皆様には迅速にご対応頂きました事を深謝致します。</p>	
6. 研究業績 (日本語以外に英語名称もあるものは、できるだけ日英両言語でご記入ください)	
(1) 著書 (2) 論文 (3) 研究発表等 (4) 主催したシンポジウム・研究会等 (5) その他研究活動(報道発表や講演会等) (6) 受賞学術賞 (7) 科学研究費助成事業 (8) 競争的資金等(科研費を除く) (9) その他	